

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第60号

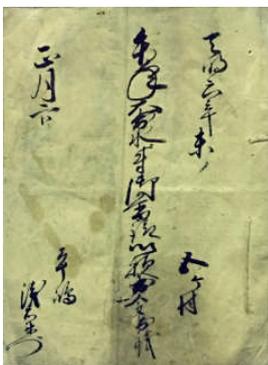
企画展 古文書に見る人々の暮らし3 弘化3年の水害

宮代町郷土資料館では、平成30年3月17日（土）から5月24日（日）まで、企画展「古文書に見る人々の暮らし3 弘化3年の水害」を開催しています。

この企画展は、当館が収蔵している古文書の中からテーマを設けて紹介するものです。今回のテーマは、江戸時代に起こった大きな水害として知られている「江戸三大水害」のひとつである「弘化3年の水害」とし、関係する古文書を紹介しています。

展示会場は、1) 江戸時代 埼玉県域の水害と、2) 町域に残る水害関係史料の大きく2つのコーナーに分かれています。

1) 江戸時代 埼玉県域の水害



「午ノ年大出水ニ付御普請御願出金出銭」

天明6年

このコーナーでは、『埼玉県史』や防災科学技術研究所のホームページなどを参照し、埼玉県域の水害について年表で紹介しています。

江戸時代、江戸を中心に大きな被害を受けた水害の中で、「江戸

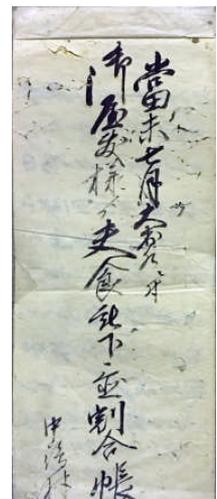
三大水害」と呼ばれるものに寛保2年(1742)、天明6年(1786)、弘化3年(1846)の水害が挙げられます。しかし、これら以外にも水害は何度も発生しており、およそ15年に1度の頻度で発生しているようです。

町域の古文書の中にも、天明6年や享和2年(1802)、といった弘化3年以前の水害に関係するものや、弘化3年以後の水害に関係する古文書が残されています。

今回は、天明6年(1点)や享和2年(2点)、安政6年(1点)の水害に関する古文書を4点紹介しています。

2) 町域に残る水害関係史料

郷土資料館の収蔵庫に保管されている古文書は、町史資料集(戸田家・岩崎家・新井家・折原家)や文化財調査報告書(岡安家)として刊行されているもの以外は、基本的には未公開の仮目録の形でデータ化されていますので、表題、年代などの項目での検索が可能となってい



「当未七月大出水ニ付御屋敷様より夫食被下置割合帳」

安政6年



「御用触留帳」弘化3年
8月15日の記述に、関係の
記述が見られる。

った言葉が出てこない場合でも、本文中に見つけることのできる古文書もありますので、その場合は、該当する年の古文書を探し、それらの本文中にキーワードが見つからないかを確認していくことになります。



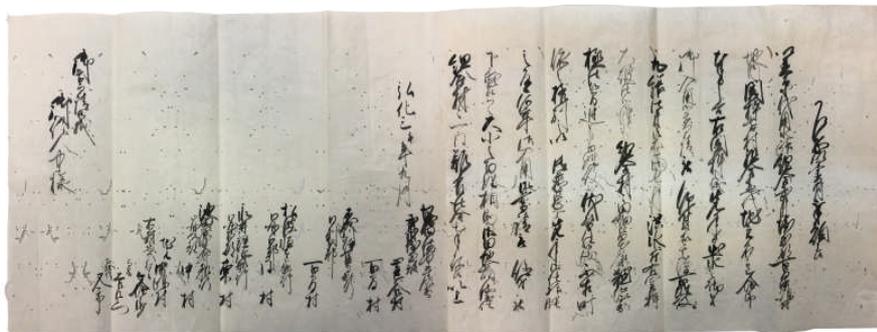
「水防修繕明儀代並諸入用払
方覚帳」弘化3年
堤防の修繕などに俵が使われ
たことがわかる。

ます。(ただし、職員による
レファレンスのみ)

水害に関する古文書
を見つけるには、まず表
題の中に「大水」「出水」
「水難」「切所」「湛水」
「水損」「水腐」などとい
った言葉が無いか見てい
きます。表題にはこうい

このようにして探し
ていくと、収蔵してい
る古文書の中には、寛
保2年(1742)以前の
ものは全く無い状態
ですが、それ以降であ
れば、関係する古文書
を見つけることができ
ようです。

今回の展示テーマで
ある「弘化3年の水害」
に関する古文書を探
すには、上記のキーワ
ードの他に水害の起こ
った年号である「弘化
3年(および翌4年)」や、
干支である「午年(あ
るいは未年)」などもキ
ーワードにして検索しま



「笠原沼代用水路御入用御
普請願書」弘化3年
洪水で破損した笠原沼代用
水路の修繕にあたり、御入
用御普請(公儀による工事)
を要望する内容となってい
る。

した。結果、表題から見
つけることができたもの、
内容を確認してわかった
ものなどをあわせて、弘
化3年の水害関係の古文
書としては19点を紹介
することができました。

これらの主な内容としては、水害による田畑
の被害状況を報告するための文書、年貢の減免
を願うためにやりとりした文書の控え、役人が
田畑の被害状況を確認に来たときの対応にかか



「馬飼料拝借証文(雛形)」
弘化4年
馬の飼料を借り受けるための
書類雛形。

った費用、壊れて
しまった用水路の
修繕に関する文
書、堤防などの修
復に使ったものへ
の費用の支払、年
貢以外の税などに
関する減免などの
願い書き、翌年の
種籾の借用に関す
る文書等が挙げら
れます。

古文書について
蔵や物置の片隅
で見つかることの

多い古文書。一見、薄汚れていてゴミのよう
に見えてしまうかもしれませんが、地域やその家
の歴史を知る上でとても重要なものである場合
が少なくありません。郷土資料館では、皆様
のご協力を得ながら、こうした古文書などを調
査させていただくことにより、宮代町の歴史を
一つずつ明らかにしていきたいと考えています。

開催しました

平成29年度歴史講座

「埼玉東部低地の人々の暮らし2～漂着神と水神～」

平成30年3月18日（日）に歴史講座「埼玉東部低地の人々の暮らし2～漂着神と水神～」を開催しました。今回の講座でも、昨年の第1弾に引き続き、放送大学講師で白岡市生涯学習課専門員の板垣時夫氏を講師としてお招きし、講演していただきました。

講座では、漂着神の定義や流れ着いたという伝承について、東部地区を中心に事例を紹介していただきました。また、水神信仰が持つ多様性や水神の形態についてわかりやすくお話していただきました。板垣氏のお話から、宮代町にある漂着神の伝承は青蓮院の木魚、西方院の十一面観音、身代神社の稻荷社、道仏の地名の由来の伝承の4事例がある事、水神が祀られる場所は10地点あり、その多くは古利根川沿いに立

地している事を教えていただきました。

講座に参加した31名は、板垣氏の丁寧な解説に熱心に耳を傾けていました。宮代町だけでなく、東部地域の漂着神と水神について知ることのできた、大変参考になるお話でした。



発掘しました！

道仏遺跡で古墳時代の集落跡を発掘！

平成29年10月24日から平成30年3月24日にかけて道仏遺跡で発掘調査が行われました。場所は道仏地区土地区画整理事務所の東側です。調査の結果、古墳時代中期から後期の住居跡44軒、土坑17基が検出され、遺物は古墳時代の土師器、須恵器、韓式系軟質土器、土錘などの土製品、紡錘車や勾玉などの石製品が出土しまし

た。道仏遺跡から勾玉が出土したのは今回が初めてです。道仏遺跡では、これまでの調査において古墳時代の住居跡が147軒見つかり、大きな集落跡であったことがわかっています。今回の調査でも、同時期の住居跡や遺物が多く出土しており、道仏遺跡にあった集落の一端を確認することができました。



第151号住居跡完掘写真



第19号住居跡出土須恵器（甗）

企画展「広報みやしろ」 ～発信された宮代あれこれ～

郷土資料館では、平成30年5月12日（土）から7月8日（日）まで企画展「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ～」を開催します。

広報みやしろは、昭和34年7月20日に「公民館」というタイトルで創刊しました。町のあり方や公民館の社会教育的活動を広く知ってもらうために発行したのが始まりです。創刊して以来、現在に至るまで町に関する様々な話題や情報を発信しており、見返してみると当時の町の様子を知ることができます。

今回の企画展では、広報みやしろで掲載してきた記事の中から文化財、町民生活、歳時記などに注目し、関連資料と共に宮代町のあゆみを振り返っていきます。



「公民館」創刊号

資料館日誌抄

- | | |
|---|---|
| 10月24日 道仏遺跡発掘調査
～3月24日 | 2月22日 東小学校3年生昔の暮らし・道具 (47名) |
| 12月25日 特別展「古墳時代の拠点集落
～道仏遺跡～」終了 | 2月23日 笠原小学校総合学習 (19名) |
| 10月31日、11月14日、21日
藤彩会 加藤家のスケッチ (10名) | 2月24日 第3回文化財保護委員会 |
| 11月8日～10日
ヒューマンサポート春日部資料館見学
(22名) | 3月1日 みどりの森デイサービスおひなさま見学
(19名) |
| 11月9日 宮代台自治会職員派遣(50名) | 3月3日 進修館おひな祭り職員派遣 |
| 11月16日 百間小学校1年生自然と触れ合う(66名) | 3月6日～9日
ジャパンケアデイサービス資料館見
(41名) |
| 11月21日 商工会役員セミナー職員派遣 (10名) | 3月17日 企画展「古文書に見る人々の暮らし3～
～5月6日 弘化3年の水害～」 |
| 12月6日 百間小学校4年生資料館見学(81名) | 3月18日 歴史講座「埼玉東部低地の人々の暮らし2～漂着神と水神～」 (31名) |
| 12月13日 杉戸いきがいクラブ資料館見学(10名) | |
| 12月16日 彩の国いきがい大学資料調査 (4名) | |
| 12月18日 道仏上遺跡試掘調査
～20日 | |
| 12月22日 第2回文化財保護委員会 | |
| 1月6日 企画展「おひなさま」
～3月11日 | |
| 2月1日 百間小学校3年生昔の暮らし・道具 (46名) | |
| 2月6日 笠原小学校3年生昔の暮らし・道具 (86名) | |
| 2月7日 須賀小学校3年生昔の暮らし・道具 (65名) | |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第60号

発行日 平成30年3月31日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原 289 番地

電話番号 0480-34-8882